

- 平成20年度の主な事業と
会計別予算……………P2～P4
- こんなことが決まりました……………P5
- 一般質問(15人)……………P6～P13
- 委員会の審査結果……………P14～P16
- 反対VS賛成……………P17～P19
- 議案審議結果・市民の声……………P20～P21
- クイズの当選者・編集後記……………P22

平成20年度 いなべ市の事業

～各会計予算を慎重な審議のうえ可決～

今年度の「いなべ市」の特徴的な事業を紹介します。

コミュニティ活動の推進

市民活動センター事業費（317万円）

コミュニティ活動の推進は、市民自らが自主的に地域活動に参加することから始まります。その活動拠点となる施設等の整備を行います。



市民活動センターの事務所（員弁庁舎西）

アビレコ活用計画

障害者就業支援事業費（450万円）

障害者が、短期的な業務訓練を重ねることによって、福祉的就労に加え、一般就労につなげる個人の特性に合った仕事を見つけ出せるようなシステムづくりを行います。

チャイルドサポート

子ども総合支援事業費（235万円）

福祉と教育部局の連携によるチャイルドサポート（子ども総合支援室）を創設し、健診から保育、教育、就労への一貫性と継続性のある支援に向けた人材育成や支援プログラムの開発を始めます。

保育施設の建設

山郷保育所建設事業費（6億2,864万円）

5歳児保育も可能な施設となり、子育て支援センターの併設も予定しています。場所は旧昭電グラウンドで、完成は平成21年3月の予定です。



山郷保育所建設予定地

丹生川保育園建設事業費（3億3,068万円）

老朽化が進んでいるために、移転建設する丹生川保育園。場所は丹生川中地区内で、完成は平成21年3月の予定です。



丹生川保育園建設予定地

救急医療の充実

いなべ総合病院救急業務事業費（5,386万円）

病院内の夜間託児施設と研修医宿舎の運営に対して財政的な支援を行い、市民が安心して受診できる救急医療体制を構築します。



写真上は託児所
写真下は研修医宿舎

いなべブランドの発掘

いなべブランド発掘研究事業費（200万円）

いなべ産の農作物について、観光施設でのイベント等を通じ積極的なPR活動を行い、関係者による話し合いの場を設けて、魅力ある「いなべブランド」の発掘を行います。



そば畑（藤原町内）

道路網の整備

笠田新田坂東新田線道路改良工事費（2億4,215万円）

大井田3区292号線道路改良工事費（1億1,246万円）

国からの「地方道路整備交付金」を受けて、主要道路へのアクセスを改善する道路整備を行います。



笠田新田坂東新田線



大井田3区292号線

災害に強いまちづくり

水槽付消防自動車購入事業費（1,600万円）

自然災害をはじめとするあらゆる災害から、市民の生命と財産を守り、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

避難所整備事業費（9,600万円）

大貝戸地区における土石流対策事業として、大貝戸地域交流センターの建設を行います。

空き家バンク制度の構築

空き家住宅活用事業費（53万円）

地域の「空き家」所有者と、その「空き家」を利用しようとする者が、安心と信頼のもとに登録し、互いに情報交換できるネットワークを構築します。

安心・安全な教育環境の整備

員弁西小学校建設事業（8億4,202万円）

大安学校給食センター整備事業費（5億2,870万円）

員弁西小学校校舎改築工事を平成19年度に引き続き行います。

また、大安学校給食センターを改修し、員弁町内の小学校へも給食を供給できるように整備を行います。

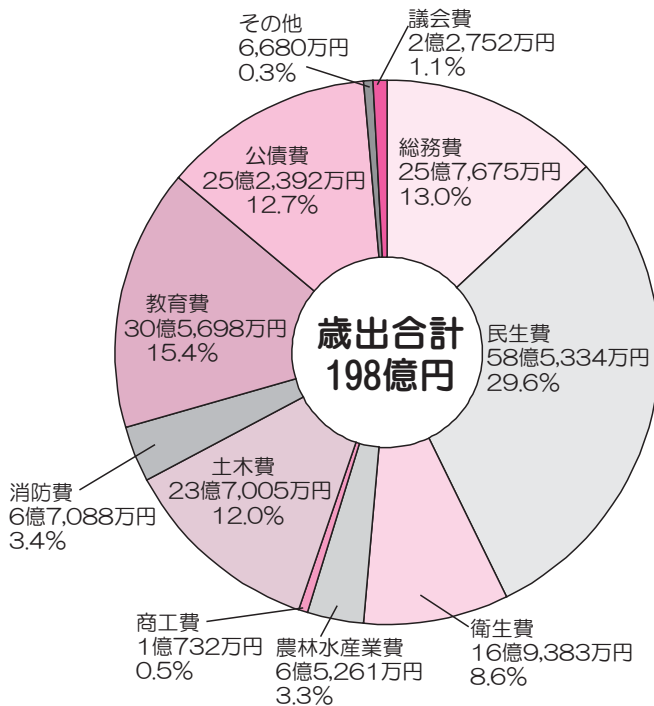


工事中の員弁西小学校 写真上は正面から
写真下は上から撮影

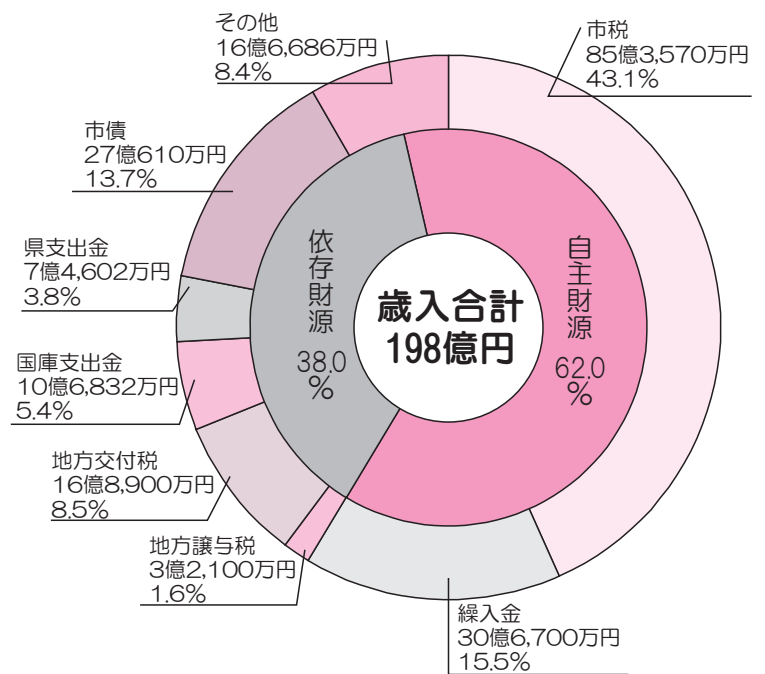
平成20年度一般会計 198億円

～福祉・教育政策重視の予算編成～

歳 出



歳 入



		平成20年度	平成19年度	増 減 額	増減率(%)
一 般 会 計		198億円	185億5,000万円	12億5,000万円	6.7
特 別 会 計	住宅新築資金等貸付事業	4,259万円	3,837万円	422万円	11.0
	農 業 公 園 事 業	9,442万円	1億342万円	△900万円	△ 8.7
	国 民 健 康 保 険	45億1,139万円	42億4,961万円	2億6,178万円	6.2
	老 人 保 健	4億5,666万円	44億6,390万円	△40億724万円	△ 89.8
	後 期 高 齢 者 医 療	7億4,767万円	—	7億4,767万円	—
	介 護 保 険	21億7,800万円	20億6,670万円	1億1,130万円	5.4
	農 業 集 落 排 水 事 業	2億7,874万円	2億7,345万円	529万円	1.9
	下 水 道 事 業	18億6,428万円	20億4,807万円	△ 1 億8,379万円	△ 9.0
	小 計	101億7,375万円	132億4,352万円	△30億6,977万円	△ 23.2
水 道 事 業 会 計		26億2,093万円	15億5,021万円	10億7,072万円	69.1
合 計		325億9,468万円	333億4,373万円	△7億4,905万円	△ 2.2

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

3月定例議会

こんなことが決まりました

☆平成19年度の一般会計、特別会計、水道事業会計の補正予算を可決しました。

		補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計		201億2,255万1千円	△5億8,528万6千円	195億3,726万5千円
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	4,291万8千円	0円	4,291万8千円
	農業公園事業	1億789万8千円	△232万1千円	1億557万7千円
	国民健康保険	42億2,393万6千円	△902万5千円	42億1,491万1千円
	老人保健	45億4,418万5千円	△6,371万1千円	44億8,047万4千円
	介護保険	22億2,026万7千円	△412万9千円	22億1,613万8千円
	農業集落排水事業	2億7,364万1千円	△860万円	2億6,504万1千円
	下水道事業	20億4,980万円	△51万1千円	20億4,928万9千円
水道事業会計		17億2,785万9千円	△2,121万7千円	17億664万2千円
合計		353億1,305万5千円	△6億9,480万円	346億1,825万5千円

平成20年度予算については、4ページをご覧ください。

☆固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意

羽場康廣氏（桑名市）が議会の同意を経て任命されました。

☆いなべ市は男女共同参画を推進します

男女共同参画社会基本法の規定に基づき、いなべ市において男女共同参画を推進するにあたり、条例を制定。その基本理念を定め、市、市民および事業者の責務を明らかにし、いなべ市において男女共同参画社会の実現に取り組みます。



北勢町阿下喜にあるウッドヘッド三重

☆ウッドヘッド三重の管理運営が指定管理者に

管理運営の効率化のため、指定管理者制度を導入します。

☆水槽付消防ポンプ自動車購入

車両の老朽化により買い替えます。
 今後は員弁第2分団に配置されます。



平成19年度 員弁第2分団に配置された消防車

一般質問

あなたの声を市政に

3月6・7日に15人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

鈴木 順子

- 1.女性の健康と子育て支援
～女性の悩みに対応を～
- 2.障害者活動支援センターの
事業内容を問う
- 3.増加する多重債務者の救済を



【質問1】 ①性差に基づく医療を進めるため「いなべ総合病院」に女性専門外来の設置を。②妊産婦無料健診の拡充および里帰り出産における適用、産前産後の育児支援「ペリネイタルビジット事業」の推進、母子家庭自立に向けての就業支援と生活支援が必要であると考えるが。

【市長】 ①経験豊かな女性医師が必要。「いなべ総合病院」へも問い合わせたが、経験豊かなベテラン女性医師の確保が難しいということであった。そのため、今はその段階にない。②妊産婦無料健診は、4月から県下統一の「5回健診」に移行。しばらくは推移を見守りつつ、現状のまま「5回健診」でいきたい。里帰り出産については、現行の「いなべ市妊婦健康診査費助成事業」を改正し、県外受診者に限った5回の助成措置を存続させる。「ペリネイタルビジット事業」については、モデル地域になるうかと思うが、取り組んでいきたい。母子家庭の就業については「マザーズサロン三重（JA四日市ビル内）」と連携を取りながら支援をしていきたい。

【質問2】 障害者活動支援センターの事業は。

【市長】 日中一時支援事業（定員10名）を実施していきたい。また、アビレコ（技能開発履歴）を活用し、就労へ導けるような支援をしていきたい。

【質問3】 急増する多重債務者を救済するための取り組みは。

【市長】 4月から県と弁護士会、司法書士会との連携により、多重債務者を発見した場合には、弁護士事務所や司法書士事務所へ誘導するシステムを稼働する予定。



いなべ市障害者活動支援センター



川崎智比呂

いなべ市内の
工業団地への企業誘致

【質問】 産業振興策として、市内への企業誘致活動の状況につき尋ねる。

【まちづくり部長】 員弁町地内の「平古工業団地」の造成工事には多額の費用が掛かる。リスクを解消するためにも基本的には企業立地協定締結後に工事着手したい。現在は、県の企業立地室と調整しながら企業誘致を進めている。なお、現在、数社からの問い合わせがある。今後も県と調整しながら"引き合い企業"への訪問などを行い、一日も早い締結に向け努力していきたい。

大安町地内の「鶴沢工業団地」については、企業誘致が決まりしだい、必要な道路整備を含めた造成工事を行っていききたい。現段階では「平古工業団地」、「藤原工業団地」、「前林工業団地」への"引き合い"があるため、そちらの企業誘致を優先的に進めていき

たい。

北勢地域の企業誘致に当たってのセールス方法は、早期の事業開始に向けた条件整備を含め「価格」、「交通アクセス」などについて最善を尽くしている状況である。価格については他市や民間業者と比較しても安価である点が競争力につながっているのではないかと。

また、市の誘致体制としては、平成19年7月に「まちづくり部」を創設。職員を増強し「まちづくり課」の中で企業誘致体制に当たっている。県の企業立地室と連携を密にし、企業訪問の充実・企業ニーズの把握を踏まえた当市の工業団地のPRなどの誘致活動を積極的に行っているところである。



岡 英 昭



- 1.災害時における他からの応援は
- 2.知的障害者に対する就労の促進を
- 3.学校評価への取り組みは

【質問1】 市は災害時に備え、他の市町や民間と応援協定を結んでいるのか。

【総務部長】 他の市町との応援協定としては、桑員2市2町で締結した「危機発生時の相互応援に関する協定」、三重県内の市町で結んだ「消防相互応援協定」、「防災ヘリコプター応援協定」、「水道災害広域応援協定」など、合わせて20本ほどある。ライフライン関係においても協定がある。また、民間事業者や医師会との間で「非常時の物資供給」や「救急医療」などの協定を締結している。

【質問2】 知的障害者の就労拡大を図るべきと考えるがいかがか。

【福祉部長】 市は、障害者活動支援センターにお

ける障害者の訓練の記録をもって、企業に就労を働きかけていく計画(アビレコ活用計画)に着手する。なお、就労の促進は、ハローワークなどとも連携していきたい。

【質問3】 学校評価に対する教育委員会の取り組みや、今後、力を入れる点につき伺う。

【教育長】 いなべ市では、すでに学校評価を行っているため、今後は「学校関係者評価」に力点を移していきたい。

現在、学校が最も力を入れているのは「学力向上」と「特色ある学校づくり」の2点であるが、今後は、小学4年生以上を対象に「学校満足度調査」を実施するなど、子どもが学ぶ土台となる「クラスの間関係づくり」にも力を注いでいきたい。



員弁町内の災害現場
(平成18年4月の災害)



出口 正

- 1.後期高齢者制度につき問う
～将来にわたり安心して
医療が受けられるよう～
- 2.危険な交差点に信号機の設置を
～阿下喜駅前と六石の道路改良を
行った市道の交差点～

【質問1】 ①後期高齢者医療制度の対象者は何人か。②国民健康保険特別会計への影響は。③年間の1人当たりの老人医療費は。④後期高齢者医療制度の周知は。

【市民部長】 ①約5,300人。②平成20年度国民健康保険特別会計については、老人保健拠出金が約6億2,600万円減少するが、後期高齢者医療支援金の新設により、約4億3,000万円が新たに増加する。なお、平成20年度の老人保健特別会計は後期高齢者医療制度の新設により、前年度比で大きく減少。③いなべ市の平成18年度1人当たりの老人医療費は81万4,152円。県平均の72万6,576円を上回る。④被保険者証郵送時に制度説明のリーフレットを同封。また、広報誌での掲載を行うなど、今後も周知を図って行きたい。

【質問2】 全面開通となれば、阿下喜駅前と六石の交差点は「危険な交差点」になる。信号機の設置はいつになるのか。また、本町通りの整備計画は。

【副市長】 北勢中学校や地元の自治会から、信号機設置の要望を受けた。市は、いなべ警察署に対して上申要望を行った。設置時期については、県全体の中での優先順位を考えた上で設置するということだが、現段階では答えが来っていない。

阿下喜本町通りの整備は、国の「まちづくり交付金事業」において行っている。平成19年度は側溝の整備と補修およびコンクリート舗装部分の施工。平成20年度は日下病院の入口付近までの舗装を予定。



阿下喜駅前の道路交差点

川瀬 利夫

あじさいクリーンセンターの
現状と今後は



【質問】 ①平成19年8月、あじさいクリーンセンターから排出基準値を超えるダイオキシンが検出された。市はどのような措置および対策を行ったのか。原因はバグフィルター（集塵機）の劣化と聞いているが、それはどうしてか。今後、住民に不安を与えないためにも、ダイオキシン排出値の測定の回数を増やすとともに、測定値を市民に公表すべきと考えるがいかがか。②あじさいクリーンセンター（北勢町・藤原町・大安町）と桑名広域清掃事業組合（員弁町）の2つの施設におけるゴミ1トン当たりの経費はいくらか。仮に安い施設に市内統一した場合、どれほどの経費削減になるのか。

【市民部長】 ①バグフィルター（集塵機）は平成19年の補修工事において交換する予定であったが、すでに性能劣化が起きていた。そのため、交換など

を9月に実施し、再測定した結果、異常はなかった。その後、再発防止策を県へ報告し、10月23日に2号炉を再開した。なお、再発防止策としては、日常の管理体制を強化し、バグフィルター（集塵機）の差圧管理を早いタイミングで対処する方法に変更するなどした。また、年次点検は年1回行っているが、不具合が生じれば、緊急点検を実施し、原因究明を行うとともに対策を講じることにした。②ゴミ1トン当たりの処理費用は、あじさいクリーンセンターが19,748円で、桑名広域清掃事業組合が23,646円。その差は年間1,600万円ほどになる。しかし、あじさいクリーンセンターでは、員弁町分の可燃ゴミを受け入れるだけの処理能力がない。



あじさいクリーンセンター



小林 俊彦

農業者への
支援につき問う

【質問】 ①認定農業者の高齢化に伴う、新規認定農業者に対する支援はどのようにするのか。②経営規模拡大による機具購入や施設拡充への支援策は。③新規認定農業者育成のため、補助金の交付も必要と考えるがいかがか。

【農林商工部次長】 ①認定農業者111経営体のうち、個人経営が91で、そのうち、満65歳以上の高齢者による経営は27である。市独自の審査基準で申請時点において対象者が満65歳に到達していれば、後継者の指名または集落からの支援体制を明確化するよう義務付けている。今後、集落で後継者づくりができない場合は、市としても対策を検討していきたい。②経営規模拡大に伴う農機具などの整備については「集落組織づくり推進支援事業」、「元気

な集落づくり支援事業」といった市の補助事業により集落や集落で指名された担い手に対する支援を行っている。

また、国庫補助事業としては、個人・組織に対する「制度資金の無利子化」、「制度資金融資で機械・施設を導入する場合の自己負担分助成」などがある。なお、市単独事業については、平成21年度までの現在の事業完了後に再度検討したい。③同一農機具などに対しては、複数回の補助金交付は認められていない。現時点において規模拡大・新規就農者に対しては、国の補助事業などにより支援を行う。新規については、「集落ぐるみで支援する仕組みづくり」を構築していきたい。



認定農業者の施設



小林 昌彦

緊急医療の現状は

- ・救急患者の受け入れ体制は万全か
- ・いなべ総合病院の新しい施設

【質問】 市民が安心して生活できる要素の一つとして救急医療の環境整備とその充実が挙げられる。救急搬送中の重症患者が、受け入れを10回以上断られた事例が三重県内で昨年中に5件もあった。また、大阪では35回も拒否されたあと、死亡されたという事例がある。全国的にも憂慮すべき事例が多く発生しているが、いなべ市は大丈夫か。

【総務部長】 管内においての10回以上の受け入れ拒否は皆無である。桑名市消防本部南分署・北分署の平成19年中の救急搬送件数は1196件。搬送人員は1230人である。なお、桑名市消防本部管内における軽症者搬送率は約5割となっている。消防署の救急車は著しく悪化のおそれのある症状を示す疾病や災害・事故などで生命の危険があり、迅速に移動する必要があるときに要請するものである。その

ため、消防本部では安易な利用を控えていただくよう広報などで周知を図っている。

【福祉部長】 「いなべ総合病院」が創設する夜間託児施設は、医療従事者（医師、看護師など）の児童に夜間保育を行うことを目的とする施設である。看護師不足の解消と出産や子育てによる離職を防ぐための対策でもある。同じく「いなべ総合病院」が創設する研修医宿舎は、臨床研修を受ける医師のための施設である。昨今は医療従事者の確保が非常に難しい。そのため、受け入れ態勢を十分に整えることが医師や看護師から魅力のある病院と認識される条件でもある。



桑名市消防本部南分署の救急車



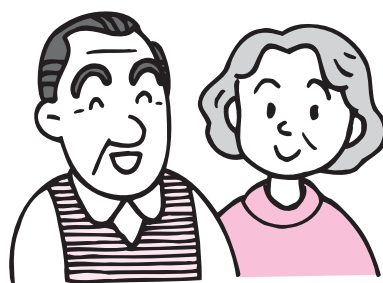
種村 正巳

地域福祉の現状と今後は
～地域福祉計画から尋ねる～

【質問】 平成19年3月に発表した「いなべ市地域福祉計画」に基づき、いなべ市の現状と課題について伺いたい。

【福祉部長】 ①いなべ市地域福祉の現状と今後については、現在、社会福祉協議会においてボランティア養成講座を開催。ボランティアの養成と登録を進めている。については、今後ともボランティアの質的・量的な拡大を図っていききたい。②高齢者や障害者のボランティア活動への参加については「地域のふれあいサロン」において、老人クラブの元気な方がお世話をいただいている。また、障害者の方には学校などでの講演会の講師として参加いただいたりしている。③家庭児童相談室の相談については、平成18年度において延べ976件の相談があった。なお、平成19年度においては、市内の小中学校、幼稚園お

よび保育園を訪問し、児童・生徒および園児の抱える課題や支援につき聞き取りを行い、市の担当者と支援の方向についての検討を行った。④災害ボランティア養成講座の開催計画については、平成19年度中に社会福祉協議会において予定をしている。⑤防犯対策の充実については、高齢者の見守りネットワークの構築を進めており「寝たきり老人」・「一人暮らしの高齢者」・「要支援者などへの防犯対策」、「悪徳商法の防止」などの見守りにも力を入れていきたい。



藤本 司生



子ども議会の開催は
検討されたのか
～平成18年9月定例議会で
一般質問したが～

【質問1】 子ども議会の開催につき、校長会においてどのように提案されたのか。月日を追って具体的な説明を求める。

【教育次長】 平成18年9月21日の校長会の席上、教育長が挨拶の中で「一般質問において、子ども議会開催の提案があったため検討していく」と申し上げた。これにより、各学校への提案を行ったと考えている。なお、平成19年度には、初めての全国学力調査があったため、実施に踏み切ることができなかった。私が平成18年9月の定例議会において、平成19年度の夏休みに実施したい旨の答弁をしたことについては、申し訳なく思っている。

しかし、平成20年度は学力調査も2年目に入る。そのため、総合学習の時間を活用し、他のカリキュラムに影響が出ないよう調整を行いながら、子ども議会の実施に向け、取り組めるのではないかと考え

ている。なお、平成20年度においては、小学校6年生を対象とした子ども議会を実施する。

【再質問】 なぜ、教育長は教育委員会での挨拶の中で提案を行ったのか。議題として取り上げなかったのか。また、その際、各校長からの意見や質問はあったのか。

【教育長】 校長会の挨拶での報告は「これから、子ども議会につき、考えていこう」という動機づけであった。なお、その際、校長からの質問はなかったと記憶している。





位田まさ子

高齢者のための
施策につき尋ねる

【質問】 いなべ市における65歳以上の人口が1万人を突破。高齢化率は22%となり、全国平均の21%を上回った。①高齢者が元気で過ごせるための病気の予防への取り組みは。②在宅介護家族で結成された『だいふくの会』への支援は。

【市長】 いなべ市は今後も人員と予算面において、教育と福祉に力を入れていく。「地域ふれあいサロン」、「元気づくり体験事業」、「高齢者見守りネットワーク」などを充実させ、今後とも「支えあいのまちづくり」を進めていきたい。

【福祉部長】 ①生活習慣病予防のための食生活の改善業務は、食生活改善推進協議会に委託している。委託業務は「生活習慣病予防料理講習」など。今後も食生活改善推進協議会と地域包括支援センターを中心に、生活習慣病予防のための事業を推進してい

きたい。また「元気クラブいなべ」には、介護予防事業や健康づくり事業の一環として「一般高齢者運動器機能向上事業」などを委託している。

②在宅介護家族の『だいふくの会』への支援については「運営に関する情報提供」「広報活動の支援」、「リーダー研修の実施」などを行う。なお、平成20年度は地域包括支援センターの職員が事務局員として参画する予定である。



元気づくり体験

小川みどり

- 1.学校給食は安全で安心か
～食の安全性が揺らいでいるが～
- 2.確定申告の期間の
「無料税務相談」が
なくなったのはなぜか

【質問1】 中国製冷凍ギョーザの中毒事件をきっかけに食品の安心安全が揺らいでいる。当市の学校給食の安全安心はどうであるのか。また、中国製食品の使用度は。

【教育次長】 該当する中国産の食品は使用していなかった。しかし、中国産野菜を使用しないことは非常に困難であるため、中国産食材を輸入して日本で加工し、安全性が確認された製品または中国産食材で仕入先から安全である証明を得た食材については使用許可をしている。今後も安心安全のため、常に努力をしていきたい。

【質問2】 今年の確定申告から無料税務相談がなくなった。その理由は。

【総務部長】 税理士が行う無料相談は「対面方式」であるため、待ち時間が発生する。そのため、無料相談を廃止した。合併後は「対面方式」による申告を行っていたが、待ち時間が長く住民からの苦情が多かったため、税務署が行っていた「自書申告方式」に変更し、各自が申告書に記入し、提出できるようにした。「自書申告方式」に変えた結果、待ち時間がほとんどなくなったため、市民からは好評である。なお「自書申告」ができない方に対しては、別室にて職員が個別に対応している。



大安中学校校舎に隣接の大安学校給食センター



清水保次

市長の施政方針を受けて
～財政見通しは
後期高齢者医療制度の展望は～

【質問】 予算編成に当たっての所見を伺う。

①基金の取り崩しと借金を含めた「やりくり予算」となっている。なお、平成20年度一般会計予算は、前年度比約12億6千万円の増での計上である。将来の財政見通しはよいのか。②ガソリン税の暫定税率維持を含む租税特別措置法改正案などの関連法案の方向性が依然定まらない。市の予算への影響は。

【企画部長】 ①投資的経費が前年度に比べ約7億円増えているのは、合併特例債の期限が迫っているため、2つの保育園と給食センター建設などを前倒しして集中投資したためである。次に、公債費（借金）が前年度に比べ約2億円増えているのは、国が高い金利の繰上償還を認めたため、将来の利払いを大きく節減することを目的に、一般会計と水道会計を合わせて約9億円の繰上償還を実施するためである。

る。また、繰出金が前年比で約3億円増えているのは、基金が少なくなってきたため、下水道特別会計などへの一般会計からの繰出しがさらに必要となったことによる。なお、一時的な要因であるため、歳出増加の時期を越せば、安定的な財政運営になると考えている。②現時点では、国の方針が定まっていないため、平成20年度の当初予算はガソリン税の暫定税率維持を想定した予算計上となっている。今後は暫定税率の扱いや補助制度など、国の動向を注意深く見守っていきたい。



小川克己

1. ゴミ収集の
ルール徹底を
2. 自治会要望への
対応は迅速に

【質問1】 昨年より、自治会役員をはじめ、関係者の協力のもと、ゴミ減量化と資源ゴミのリサイクルが進められ、集積場周辺は非常にきれいになった。しかし、まだ、ゴミ分別ルールを守らない方がみえ、不法投棄も絶えない状況にある。ついては、平成20年度の目標として「事業者、自治会未加入者への啓発」を挙げられているが、今後、どのような方法を取るのか伺う。

【市長】 ゴミ収集のルールについては、行政カレンダーを全世帯へ配布するとともに、転入者に対しても、近くの自治会を紹介し、協議いただくようお願いをしている。自治会未加入者へは、さらに工夫をこらして啓発していきたい。集合住宅については、管理者に対し指導をしている。また、新たに集合住宅を建築する場合には、開発業者に開発時において

生活環境課と事前協議をするよう、周知と指導を行っている。

【質問2】 各自治会からは、数多くの「自治会要望書」が提出されているが、担当部署で滞ることはないか。迅速な対応を求める。

【市長】 毎年、1,200件前後の要望書が提出される。その中の要望事項を累積すると4,000件ほどに上る。できるだけスムーズに対応したいが、中には複数の部局にまたがるため、調整を要する要望もある。また、予算の関係もある。そういった事情から、遅れる場合もあるので理解をいただきたい。





衣笠 民子

1.子育て応援のまちへ
～思い切った総合的施策で
住民転入増加を～

【質問1】 ①子どもの医療費無料については、4月から医療費が就学前まで3割から2割負担になるため、市の助成額も減少する。三重県の制度で9月から無料が就学前までになるが、市で先行して4月から実施できないか。②妊婦検診の公費負担の充実が厚生労働省の通知で求められ、いなべ市でも検診の無料回数が2回から5回になった。しかし、受診は14回程度行うことが望ましいため、無料回数を計画的に引き上げる考えは。③3歳未満児保育を地域の各公立保育園で実施すべきではないか。④放課後児童クラブを各小学校区で実施できるよう求める。Ⅰ.新規開設の支援は。Ⅱ.指導員の身分保障は。Ⅲ.保育料軽減の施策を。

【市民部長】 ①4月からは行わない。

【福祉部長】 ②国・県の財政的支援の状況を踏まえ、県内統一での助成措置として検討していく。とりあえず、現在の措置である5回の実施。③現在、私立も含め9保育園で実施。「丹生川保育園」(H20年建設、H21年度開園)で新たに2歳児保育を始める。

【教育次長】 ④Ⅰ.市の要綱に従って補助をしていく。Ⅱ.放課後児童クラブ運営充実のための補助という形で行っている。その中で、学童保育所で充実させてほしい。Ⅲ.保育料は、各学童保育所で決めることから、保育料の軽減も同様に運営の補助金等の充実で対応するので、その中で対応を。



石原 瞭



1.借入金の繰上償還
2.いなべ市の農業施策
3.新しい山郷保育所建設に
かかわる課題

【質問1】 高い金利の公的資金が繰上償還できるようになった。①いなべ市の金利負担軽減額はいくらか。②そのために義務づけられる「財政健全化計画」の内容は。

【企画部長】 ①約16億7千万円返して、約5億3千万円軽減。②従来の「集中改革プラン」などを書き込んだもの。

【質問2】 ①農政の受け皿として「営農支援センター」を中心に集落営農組織づくりを行ってきたが「営農支援センター」の廃止後、営農をどうサポートしていくのか。②学校給食における「いなべ市産品」の使用比率は。

【農林商工部長】 ①最終的には、農林商工部が総力を挙げてサポートしていきたいと考えている。

【教育次長】 ②まだまだ少ない。1ヵ月平均で、卵35kg、大根185kg。サトイモ110kg、米500kgである。

【質問3】 ①山郷保育所の建設に伴う、信号機の設置や歩道の確保などの交通安全対策は。②統合していない阿下喜幼稚園と十社幼稚園の給食実施は。

【市長】 ①「辻内鋳物鉄工」前の側溝に蓋をして、少し道路を拡幅する。「コメリ」の北の交差点から西へ向かう道は、かなり狭くなっており、員弁街道との交差点は大変危険な箇所である。そのため、抜本的な対策を検討しているところである。②徐々に幼稚園の保育園化を進めており、保育園化したところから、実施していきたい。



コメリの北交差点から員弁街道方向

常任委員会の審査結果

総務常任委員会

付託案件の審査 3月13日（7議案）

- 男女共同参画推進条例の制定 (全員賛成)
《いなべ市において男女共同参画社会を実現するための条例制定》
- 特別会計条例の一部を改正する条例 (全員賛成)
《後期高齢者医療制度の開始に伴い、特別会計を設けるための条例改正》
- いなべ市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例 (全員賛成)
- 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例 (全員賛成)
- 三重県市町公平委員会を組織する地方公共団体の数の増加及び
三重県市町公平委員会共同設置規約の変更に関する協議 (全員賛成)
- 平成19年度一般会計補正予算のうち、総務常任委員会の所管（第5号） (全員賛成)
- 平成20年度一般会計予算のうち、総務常任委員会の所管 (全員賛成)

委員会での主な質疑

コミュニティ活動の推進

Q コミュニティ施設整備事業費1,350万円の事業内容は。

A コミュニティ活動の活動拠点となる施設等の整備に対して支援を行うための費用。文化振興面も対象となるため、現段階では「獅子舞」に関する助成の申請書が提出されている。



ブランド発信事業

Q いなべブランド発信事業費164万5,000円の内容は。

A ロゴ入りのステッカーの作成とロゴの商品登録を行うための費用。ロゴマークの利用促進により、市にある優良な施設・物産や優れた施策を1つの「いなべ

ブランド」に結び付けれるような取り組みも進めていきたい。

道路特定財源

Q 仮に道路特定財源の暫定税率が認められなかった場合、市へ入る地方譲与税への影響は。

A いなべ市全体の影響額としては、約4億4,000万円の減収となるが、県の試算によると地方譲与税への影響額は、うち約1,100万円の減収になる。



教育民生常任委員会

付託案件の審査 3月13日（13議案）

- 後期高齢者医療に関する条例の制定 (賛成多数)
《市の役割を定めた条例の制定。当制度の保険者は三重県後期高齢者医療広域連合》
- 福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例 (全員賛成)
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例 (賛成多数)
- 介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例 (全員賛成)
- 平成19年度一般会計補正予算（第5号）のうち、教育民生常任委員会の所管 (全員賛成)
- 平成19年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号） (全員賛成)
- 平成19年度老人保健特別会計補正予算（第2号） (全員賛成)
- 平成19年度介護保険特別会計補正予算（第3号） (全員賛成)
- 平成20年度一般会計予算のうち、教育民生常任委員会の所管 (賛成多数)
- 平成20年度国民健康保険特別会計予算 (全員賛成)
- 平成20年度老人保健保険特別会計予算 (全員賛成)
- 平成20年度後期高齢者医療特別会計予算 (賛成多数)
- 平成20年度介護保険特別会計予算 (全員賛成)

委員会での主な質疑

阿下喜温泉管理費に関する補正予算

- Q** 指定管理料が減額となった理由は。
- A** 平成19年度の当初予算においては、前年度実績に基づき、指定管理料として7,066万円を計上したが、その後、指定管理者との協議を行った結果、5,544万円で協定した。なお、確定については、1年間にわたる指定管理料の状態や改善状況、また、目標入場者数なども確認の上、5,544万円が適当であると判断し確定をした。

古紙回収用倉庫

- Q** 平成20年度予算に古紙回収用倉庫購入費等として4,744万8千円が計上されたが、倉庫の購入については自治会単位での設置を考えているのか。
- A** 自治会および古紙回収業者との協議を要する部分があるが、基本的には自治会単位で設置したいと考えている。

図書館の現状

- Q** 毎年、どれくらいの新刊を購入するのか。また、専門書の要望への対応は。
- A** 新刊は市内の4館を合わせ、毎年、8千冊から9千冊を購入している。なお、それに伴い、利用が少な

い本などは廃棄等の措置をしている。また、専門書については一般向けでないため、取捨選択をしながら購入計画を立てている。『調べ物のコーナー』を設置しているが、希望の専門書が無い場合には購入のリクエストをしていただくか、県の図書館などから借りることも可能である。

員弁西小学校の建設計画

- Q** 新しく建設する員弁西小学校の付帯施設等の計画は。
- A** 平成20年度で校舎を完成させ、平成21年度には体育館およびプールを建設する予定である。その後、平成22年度において屋外環境整備を行い、すべて完了する計画である。

丹生川保育園と山郷保育所

- Q** 新しい丹生川保育園と山郷保育所の建設スケジュールは。
- A** とともに、本年の5月までに実施設計を行い、6月には建設のための建築確認申請書を提出。9月には工事に取りかかる計画である。

産業建設常任委員会

付託案件の審査 3月13日（15議案）

- モデル木造施設「ウッドヘッド三重」の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例
(全員賛成)
- モデル木造施設「ウッドヘッド三重」の指定管理者の指定
(全員賛成)
《いなべ市商工会を指定管理者に指定》
- 市営住宅管理条例の一部を改正する条例
(全員賛成)
- 市道路線の認定について
(全員賛成)
《4路線につき認定》
- 平成19年度一般会計補正予算（第5号）のうち、産業建設常任委員会の所管
(全員賛成)
- 平成19年度農業公園事業特別会計補正予算（第3号）
(全員賛成)
- 平成19年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
(全員賛成)
- 平成19年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）
(全員賛成)
- 平成19年度水道事業会計補正予算（第3号）
(全員賛成)
- 平成20年度一般会計予算のうち、産業建設常任委員会の所管
(全員賛成)
- 平成20年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
(全員賛成)
- 平成20年度農業公園事業特別会計予算
(全員賛成)
- 平成20年度農業集落排水事業特別会計予算
(全員賛成)
- 平成20年度下水道事業特別会計予算
(全員賛成)
- 平成20年度水道事業会計予算
(全員賛成)

委員会での主な質疑

ウッドヘッド三重の使用料

- Q** 部屋の使用料は、指定管理者が決めるのか。
- A** 施設の使用料は条例で定めるため、その範囲内で指定管理者が設定を行う。使用料には上限がある。
なお、使用料の設定および改定を行う場合には、市との協議を要する。

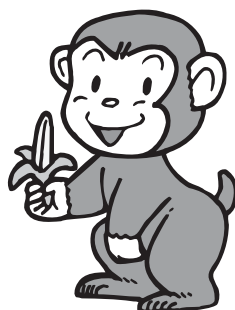
有害鳥獣追い払い事業

- Q** 「猟友会」には、どのようなことを行っていたのか。
- A** 市と契約のうえ、活動いただいている。活動は旧

町単位となっており、3日に1度の割合で、2人1組で、よく出没するところを中心に回っていただいている。

農道台帳の整備

- Q** 農道台帳整備事業費500万円は。
- A** 旧4町の農道台帳を統一するための経費。なお、完了までには2年ほどを要する。



反対 VS 賛成

本会議において反対・賛成双方の討論があった議案は次のとおりです。

●議案第2号「後期高齢者医療に関する条例の制定」

(賛成多数 可決)

いなべ市が行う後期高齢者医療の事務に関する条例の制定

反対討論

石原 瞭 議員

特定の年齢以上を対象とした医療制度を持つ国は外国にはない。75歳以上を『ひとくくり』にし、別の保険制度に囲い込んでしまうような制度があってもよいものだろうか。また、新しい健康診断制度（特定検診・特定保健指導）の対象は40歳から74歳で、75歳以上は対象から外されている。後期高齢者医療制度の本来のねらいは、医療費の削減にある。そのため、医療がよくなる保証はない。国は社会保障費を毎年2,200億円削っており、この制度もその中から出てきたものである。なお、問題点が明らかになるにしたい、中止や見直しを求める意見書を提出した地方議会が500を超えた。政治が市民に影響を及ぼす最先端の

市議会としては「国の決めた制度だから仕方がない」というのではなく「市民のためにならないこと」には反対すべきである。

賛成討論

太田政俊 議員

後期高齢者医療制度は国において決定がなされたことである。市民に一番近い立場の市議会議員は、医療の現場をもう少し知った上で判断すべきだ。その点、私は医療の現場を熟知しているつもりである。そういった立場から判断すれば「絶対にやらねばならない制度」であり、当市としても、当然、条例を制定すべきである。

●議案第3号「特別会計条例の一部を改正する条例」

(賛成多数 可決)

新たに「後期高齢者医療特別会計」を設けるための条例改正

反対討論

石原 瞭 議員

議案第2号「後期高齢者医療に関する条例の制定」の討論と同趣旨で反対する。

賛成討論

太田政俊 議員

議案第2号「後期高齢者医療に関する条例の制定」の討論と同趣旨で賛成する。

●議案第23号「平成20年度一般会計予算」

(賛成多数 可決)

198億円の予算で、前年度と比較すると約13億円（6.7%）の増となっています。

反対討論

衣笠民子 議員

評価できることも多々あるが「事業の優先順位を付ける基準」、「総合的に進める整合性」、「無駄を省くことの整合性」、「将来への見通し」に問題を感じる。たとえば、学校給食の米飯炊飯設備をつくるランニングコストの減額や調理員の削減など、地方自治体が大切にしなければならないわずかな費用を削る一方で、既存企業の便宜を図るバイパス道路をつくることには、渋滞の綿密な調査もなく、従業員に当市に住んでいただけのための積極的な対策も持たず、多くの予算が計上されている。

また、私立保育園への支援は歓迎するところだが、新たな補助要綱までつくり、支援を行うならば、当然、公立保育園の方も正規職員を採用し充実させるべきである。公立保育園は新住民と地域を結び、地域の拠点となる。また、充実すれば活性化にもつながる。目先の国の方向だけを見て保育園の民営化を進めては、先人が築いてきた『いなべのブランド』、『員弁の教育』を危うくしかねない。

子育て支援の分野では、子どもの医療費無料に疑問がある。就学前までの通院の医療費無料化は平成20年9月から県制度により始まる見込みであるが、現在、北勢10市町で実施していないのが桑名市といなべ市のみである。子どもの医療費に関する過去の整合性からも、県制度の開始を待たず、平成20年4月から、いなべ市単独で実施に踏み切るのが当然である。市長は実施しない方針だが、これでは、施政方針のような新住民の誘致ができるのであろうか。また、本当に子育て支援に力を入れているのか疑問である。

道路建設や企業誘致に偏重した過去のやり方から脱するとともに、ゴミ処理問題や住民の誘致についても、将来を見通した整合性ある効果的な予算編成を行うことを求め、反対討論とする。

賛成討論

川崎智比呂 議員

平成20年度の予算は約198億円。昨年度と比較し、約13億円の増となっている。しかし、この増額は合併前からの懸案事項であった「員弁西小学校」・「山郷

いなべ市議会だより

保育所」・「丹生川保育園」の建設・「大安学校給食センター」の整備など、投資的経費の増によるものである。

中でも、子育て支援策として市民からの強い要望があった保育園の建設を、この厳しい財政状況下で2施設を建設するということは大変評価できることである。

また、産業振興策としては、主要道路へのアクセス道路のみならず、生活道路の充実施策として、市道の「笠田新田坂東新田線」および「大井田3区292号線」の道路改良工事などの道路整備の着手。さらには、障害者福祉の推進策としての、障害者就業支援事業（アビレコ活用計画）や福祉と教育部局の連携による「子育て総合支援事業（チャイルドサポート）」などの新規事業の展開を含めた福祉施策の充実も評価できる。

また、教育関係では、放課後児童クラブへの支援策としての「放課後児童健全育成事業」、「放課後児童クラブ建設事業」や「大安学校給食センターの整備によ

る、員弁町内の小学校も含めた給食の供給」など、今回、計上された予算は、各部局にわたり、大変評価できる予算編成である。

施政方針に基づき編成された予算となっており、市長が2期目に向け約束した福祉・教育の充実、産業の活性化といった公約が強く表れている。公約を今後も強く推進する意気込みを大きく感じる予算編成である。

なお、この平成20年度予算は、歳出がかさんだ大型予算である。歳入面での不足が生じたため、財政調整基金を29億円取り崩し、歳入不足を調整している点が不安な要素である。この不安要素を取り除くためには、歳出面を押さえ、無駄な支出をなくしていくことが必要であると考えている。そのため、今後は、さらなる行財政改革の推進を図り、行財政のスリム化による財政基盤の安定を図ることを市に要望し、賛成討論とする。

●請願第6号「県の福祉医療費助成制度見直し案にかかわる意見書の提出を求める請願」（賛成少数 不採択）

県の「乳幼児」・「障害者」・「一人親」を対象にした医療助成制度に窓口の2割の自己負担を導入せず、非課税者の入院時の食事代を補助対象外にしないよう、県に対し意見書の提出を求めるための請願。なお、当請願は平成19年12月定例議会で審議を行い、閉会中の継続審査となった請願です。

反対討論

太田政俊 議員

請願の願意を尊重し、採択するのが適当という思いは半面ある。しかし、県の同意が得られなければ実現性のないことである。よって、委員会の審査結果のとおり、不採択とすべきである。

賛成討論

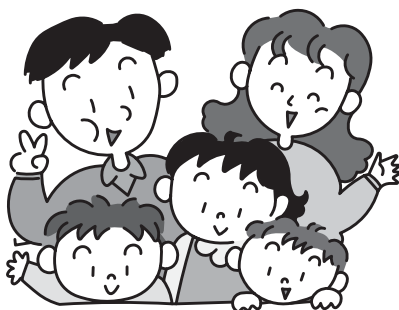
石原 瞭 議員

12月定例議会において継続審査となったが、それ以来、委員会が開かれなかった。理由は県の意向を見極めたかったということだが、本請願は「県の意向に影響を与えていこう」という趣旨のものである。そのため、対応には非常に問題があったのではないかと。また、障害児を守る会からも「早く審査を行い、県へ意見書を上げるべき」との要望が出された。この件につ

いては、市町の意向に基づき、ある程度の県の意向は定まったようである。そういった意味では、意見書提出の時期を失したことはいぬめない。

ちなみに、県議会の政策討論会議から出された質問に対し、市長は「乳幼児・心身障害者の医療対象者については拡大を願いたい。一部負担金導入については、事務の煩雑と大幅なシステムの改善を要するため、現行制度の存続（自己負担なし）を要望する。また、入院時の食事代は非課税者が対象であることから、給付存続を要望する」などの回答をしている。そういったことから、市の意向は請願の願意と同じであると解する。

しかるに、請願を無視して不採択とすることは、大きな問題であると感じる。



●発議第1号「道路特定財源の確保を求める意見書の提出」

(賛成多数 可決)

平成19年度内に関連法案を確実に成立させ、平成20年度以降10年間にわたっても引き続き暫定税率を維持するとともに、道路特定財源を一般財源化せず道路整備に充当するよう、いなべ市議会として関係行政庁に対し意見書を提出しようとする発議案

反対討論①**岡 英昭 議員**

『特定』という言葉の辞書を引くと「特にこれだと指定すること。他と混同することがないように」と書かれている。しかし、道路のみならず、「カラオケセット」・「野球用品」・「マッサージチェア」など、用途についてはきりが無い。そういったことから財源を一般財源化し、それぞれの歳出にチェックなどができるようにし、無駄を省き、必要なものに優先順位を付けて使途すべきだと考える。

今や国民の目線は、「道路特定財源を一般財源化し、ガソリン税に苦しみ毎日の生活を何とかしてほしい」という方向にある。政府は国民の目線に合った改革をすることが必要である。以上の点から本発議は否決すべきものである。

反対討論②**衣笠民子 議員**

道路特定財源は一般財源化し、道路・環境・福祉・教育にも使えるようにすべきであると一貫して主張してきた。国民の世論もこの方向に変化し「ますます苦しくなる国民の暮らしにこそ目を向けてほしい」という声が広がっている。

日本の道路密度は欧米諸国を上回る水準に達している。特定財源として道路建設に特化する理由はない。暫定措置を積み重ねて今に至ってきたものである。人口減少や資源の枯渇、地球温暖化など、社会情勢は約50年の間に大きく変化している。この間、三位一体の改革により、国の財政再建が優先され、地方交付税は減り、地方財政は大変厳しくなっている。しかし、道路財源のみを聖域として確保することは道理がない。

道路特定財源を一般財源化するとともに、安定的財源の地方自治体への委譲、財政保障機能と財政調整機能を保障した地方交付税の確保などを拡充することこそ地方自治体が自らの判断で住民のために切実な生活道路の整備に使うことを可能にする。

地方の財政強化拡充を求めることに反対をしながら、道路整備にしか使えない道路特定財源の維持に固執するのであれば、本当に市民の暮らしに目を向けているのか疑問である。以上をもって反対討論とする。

反対討論③**藤本司生 議員**

意見書案にある「平成20年度から10年間にわたって、道路整備の中期計画に必要な事業量が59兆円とされる」という文言の中の59兆円という金額は、国会の審議などからも、非常に根拠が薄い。特定財源をなく

し、一般財源化することが本来の予算のあり方である。一番大事なものとして何に使うかということは、それぞれの地方で考えるべきである。

賛成討論**小川克己 議員**

道路特定財源は確かに問題点もある。また、ガソリンの値下げも選択肢の一つである。しかし、予算措置もされ、今、撤廃をすれば混乱することは明らかである。

道路網の整備された大都会でも道路特定財源の存続が訴えられている。東京都知事や前民主党の代議士であった神奈川県知事もしっかりである。

マスコミ報道では、いろんな問題の指摘があるが、これらを是正し、しばらくは存続する必要があると考える。まして、中山間地のいなべ市においては、道路網の整備により、生活基盤が安定し、企業誘致の促進にもつながる。また、企業誘致は財源確保にも及ぶ。福祉の充実が叫ばれているが、それには税収の確保が必要である。

平成10年代半ば（15年前後）に開通予定であった「東海環状自動車道路」、また、工事中の「国道421号線の石樽トンネル」、「国道365号線の整備」、さらには、いなべ市の一体感のためにも必要な「大安町から、いなべ総合学園付近に向けての架橋」など、大きなプロジェクトが数々ある。これらの早期完成にも道路特定財源存続は必要である。

へき地は全国各地にあり、へき地の人たちは、地域おこしや安全のため災害に強く、中心街までの走行時間が少しでも短縮できる道路の建設を誰もが願っている。採算性を度外視し、人命に関わる道路整備による地域間格差の解消は必要である。

以上の観点から、本発議案は可決すべきものである。



議案の審議結果一覧表

賛成と反対に分かれた案件
～下記以外の29案件は全会一致で可決～

議長 林 正男は採決に加わらない。○は賛成 ×は反対 付託委員会(総：総務常任委員会 教：教育民生常任委員会 産：産業建設常任委員会)

議席番号			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
議案名			小林昌彦	川瀬利夫	近藤幸洋	城野正昭	岡英昭	小林俊彦	鈴木順子	伊藤和子	衣笠民子	位田まさ子	川崎智比呂	藤本司生	種村正巳	林正男	水谷治喜	伊藤弘美	奥岡征士	清水保次	小川みどり	水貝一道	出口正	小川克己	太田政俊	石原瞭
後期高齢者医療に関する条例の制定	教	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠席	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
特別会計条例の一部を改正する条例	教	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠席	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
国民健康保険条例の一部を改正する条例	教	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠席	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成20年度一般会計予算	総・教・産	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠席	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成20年度後期高齢者医療特別会計予算	教	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠席	×	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
県の福祉医療費助成制度見直し案にかかわる意見書の提出を求める請願	教	不採択	×	×	×	×	○	×	×	欠席	○	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○
道路特定財源の確保を求める意見書の提出	産	可決	○	○	○	○	×	○	○	欠席	×	○	○	×	○	—	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×



市民の声

クイズの応募ハガキに書き添えられた、議会・議会だよりなどに対するご意見や感想を紹介します。

◎ 市長、議員には、市の発展のため益々のご尽力を期待いたします。 66歳 女性

◎「議会だより」も「リンク」と重複することがあるので、もう少し紙面を縮小してもいいのではないのでしょうか。 61歳 女性

◎ 毎号拝読させていただいています。写真やイラストで分かりやすく読みやすいです。「議会だより」についてのアンケートは、綴じ込みハガキなどで回答(選択肢方式)できるようにしてはいかがでしょうか。

◎ 議員さんのご活躍がよくわかります。また、読みやすく理解しやすいです。 女性

◎「議会だより」をいつも楽しく読んでいます。少しでも市が良くなるよう頑張してほしいものです。次は、議員さんの人数も4人少なくなるため、選挙も厳しく

なりますね。今、皆様の活動を見ているところです。 68歳 女性

◎ 最近、私がとても気になることは、いなべの「学校教育」・「環境」・「福祉」の問題です。いなべ市はこれからどう変わっていくのかな？

特に、今住んでいる「藤原町」は気になります。安心して生活のできる市になってほしいです。「議会だより」は文字も大きく、文章量もちょうどよく、一番いいのは、議員の方の写真が載っているところです。親しみがわきます。クイズがあるので、次回、また見るのが楽しみです。 40歳 女性

◎「議会だより」は、いつも理解するため、繰り返し読んでいます。よく解ります。 68歳 女性

◎「議会だより」は、かねがね一字一句もらさず拝読しております。「定員が20名になるわ、会派が8つもあるわ」で構成も難しいと存じます。メディア、特に『書く』は、テレビと違い、公平を表すのが大変難しいと思います。なかなか上出来です。いなべ市も二大政党に近づこう祈念いたします。 66歳 男性

◎ 議会での中身が「議会だより」に載せられ、議員さんの顔写真もあり、いいことだと思います。私が思うことは、定年(議員の)を決めてはどうでしょうか？
女性

◎ より分かりやすい議会を。 45歳 男性

◎ ガンバレ！ 市民のために！ 43歳 女性

◎「議会だより」のことですが、議員さんは解ってみえるかも知れませんが、一般市民には内容が解りづらいです。 67歳 男性

◎「議会だより」のことですが、もう少し誰でも理解しやすい内容をお願いします。 61歳 女性

◎「議会だより」をいつも読んでいます。いろいろな質問や答で難しい点があり、「あれ！」と思う文もあります。市のことが良く分かります。これからも『良い市』をめざしてください。 60歳 女性

◎ 議会の様子はわかりませんので、「議会だより」の中で、いろいろ教えてもらっています。今の市のことがよく分かり楽しみです。 61歳 女性

◎ いなべ市議会に会派ができましたが「議会だより」で各会派の目的や政策を特集してください。市民に親しまれる「議会だより」となるよう頑張ってください。楽しみにしています。 65歳 男性

◎ ①議員さんの顔写真があるために、どの議員さんが、どんな内容の質問をされたのがよく分かり、いいことだと思います。

②「専門用語」に解説をつけていただくと、なお、解りやすいと思いました。

③「議会だより16号」の17ページの表(議案の審議結果一覧表)は、とても興味深かったです。

67歳 女性

◎ 一般質問で議会のことがよく分かります。 71歳 女性

◎ 議員の方々には、いなべ市のためにお世話になっています。「議会だより」を拝読し、いなべ市をよく知ろうと思います。 46歳 女性

◎「いなべ市の議案」、「決定したこと」、「賛成・反対のこと」が細かく分かりやすく書かれています。字をもう少し大きくしていただけたらと思います。これからも頑張ってください。 67歳 女性

◎「議会だより」を愛読しています。議員の皆さんは、いなべ市をより住みやすい『いなべが一番』と自信を持って生活できる市になるよう頑張ってください。お願いいたします。 75歳 男性

◎ ここで年をとり、死んでいくことになるので、年寄りに住みやすい土地にしてください。 75歳 女性

◎ いなべ市のために頑張ってください。10歳 男性

◎ 子どもが生まれる前までは、正直、行政にさほど関心がなかったが、子どもを授かり、まわりの人のサポートがなければ子どもを育てるのは大変だとつくづく思い、これからも安全、安心に住める市政づくりをめざし頑張ってください。 32歳 女性

◎ 議会を一度、傍聴したいと思っております。 49歳 女性

◎ 定例議会の傍聴者は毎回何人ぐらいですか。もっと関心を持ってもらうために片隅に掲載してもらえると傍聴しやすいと思いますが…。 60歳 男性

◎「議会だより」を楽しみに読ませていただいています。議会構成もよくわかりました。市民のためにご活躍されることを期待しています。 67歳 女性

◎ よりよい「いなべ市」になるよう、議員の方、頑張ってください。 69歳 女性

◎ ①議員定数を24人から20人に減少することは良いのですが、給与を39万円に上げたのでは、まったく意味がありません。給与も30万円以下に引き下げて、市民の収入・年金の格差に還元してください。年収は、あまりにも高額だと思います。②議員の仕事が今一つ市民に見えせん。2ヵ月に1回くらい「市民と語る会」、「質問会」を議員全員出席のもとで、会議室などを利用して行ってほしいと思います。 56歳 男性

◎ いつもご苦労さまです。今年も議会頑張ってください。 66歳 女性

◎ 何時もご苦労さまです。「議会だより」を楽しみにしております。今後ともよろしくお願いします。 82歳 男性

◎「議会だより」は大変細かく説明されているので、私どもは何かと勉強になります。今後とも、一市民として協力できることはするつもりです。とにかく明るい元気な市民と全員で作り上げるようにしましょう。 67歳 男性

クイズ当選者

ご応募いただき、ありがとうございました。

正解は、問1 8会派 問2 20人 問3 ② 4回

正解者の中から、厳正に抽選を行った結果、次の15人の方が当選されました。

東 村 西	西脇 則良 様	大 井 田	村上 洋子 様
大 貝 戸	藤井美津子 様	南中津原	伊藤 了 様
丹生川中	近藤とし江 様	北 金 井	種村 春代 様
石 樽 南	長崎美智子 様	阿 下 喜	川瀬 保枝 様
石 仏	奥岡新次郎 様	大 貝 戸	野々 修 様
楚 原	田中きよ子 様	上之山田	藤田 恭平 様
石 仏	奥岡 教孝 様	中央ヶ丘	井上 瑞夫 様
上 笠 田	太田喜代子 様		

応募いただいた「ハガキ」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

広報特別委員会では、いなべ総合病院の夜間託児施設などの取材を行いました。



いなべ総合病院内



夜間託児施設

編集後記

今号は3月定例議会の報告です。3月定例議会は、平成20年度の予算審議が大きなウエイトを占めており、市民の皆様の代弁者として一般質問、または各常任委員会においても活発な議論が行われました。

議会だよりは、皆様に読みやすく親しまれるために、創意工夫して編集に取り組んでいます。その結果、第15号から掲載しています「議案の審議結果一覧表」と皆様から頂きます「市民の声」の掲載については、1月下旬の三重県市町議会広報研修会において高い評価を受けました。

今後も、読みやすく親しまれる議会だより作成のために、皆様からの ご意見、ご感想をお待ちしています。

6月定例議会（予定）

- ◆開会日……………6月 6日(金)
- 一般質問……………6月10日(火)
- ……………6月11日(水)
- 総括質疑……………6月16日(月)
- 常任委員会…………6月16日(月)
- ◆閉会日……………6月20日(金)

連絡先

〒511-0292
三重県いなべ市大安町大井田2705番地
いなべ市議会 議会事務局
TEL (0594)78-3515/FAX (0594)78-3516
<http://www.city.inabe.mie.jp/~gikai/>